

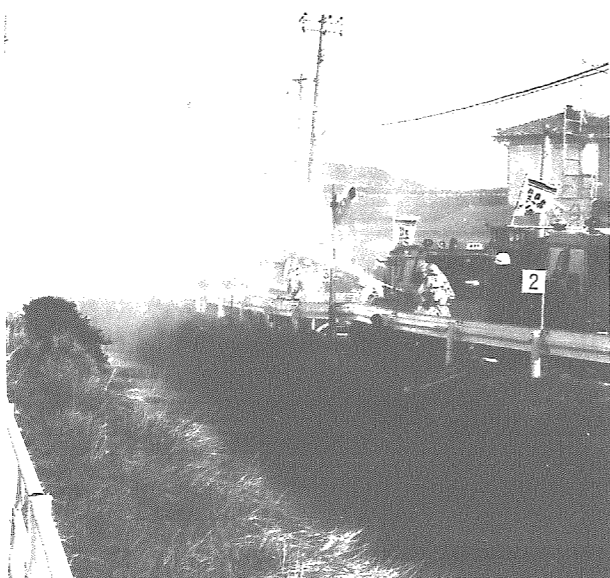
火災のない安全なまちを祈願
消防署員が町内22km疾走!

1月5日・6日の2日間、亀田町消防署横越町分署の署員により、「無火災祈願マラソン」が行われました。このマラソンは、地域の皆さんと消防署が一体となって、火災が発生することなく、安全で安心して生活できる町となることを願って行われているもので、今年で7回目となりました。出発にあたり、亀田町消防本部と横越町分署の署員を前に、浅見町長から「安全、安全、安定した暮らしは、行政最大の責務です。健康に気をつけながら、火災防止の意識を広め、十分使命を果たして下さい」と訓示。その後、分署の署員19名は「無火災祈願」と書かれたタスキを肩からかけ、消防ポンプ車や救急車など4台とともに、町内約22kmを走って町民の皆さんに火の用心を呼びかけながら、町内19か所の神社で無火災・無災害を祈願しました。昨年1年間の町内の火災は6件発生しましたが、火災によるけが人等はいませんでした。



パレードと放水訓練で火の用心を呼びかける
安心安全なまちを目指して消防出初式

1月11日、亀田町消防署横越町分署で消防団出初式が行われ、各分団の団員、消防署員など約50名が参加しました。浅見町長は訓示で「昨年がかつてない凶悪事件など憂慮すべき事態が発生しているが、これを未然に防ぎ、安心、安全な暮らしをつくるのが最大の使命」と述べ、田村団長からは、「平成16年の火災件数をゼロにしたい。厳しい訓練だが、団員にはこれからも協力をお願いしたい」と訓示し、激励しました。続いて団員たちは、消防ポンプ車や救急車に分乗し、町長や議長、南警察署長、各地区の区長たちの観閲に臨み、防火パレードに出発。約1時間半かけて町内全域で火の用心を広く呼びかけました。その後の阿賀用水路で行われた放水訓練では、きびきびとした動きの団員・消防署員たちが、目標とする地点にめがけて放水。その勇壮な姿に見ていた人々から、感嘆の声が聞かれました。



五穀豊穡、家内安全などを願い
各地で小正月の伝統行事「さいの神」

1月12日、小正月行事である「さいの神」を、阿賀野地区に訪ねました。阿賀野地区でのさいの神は、地区の人たちの親睦を深めようと平成7年から始められ、今回で10回目。昨年11月末に刈り取った萱（かや）や竹などで高さ5mほどのさいの神を前日に作り、準備を行いました。当日は青天に恵まれ、多くの人たちが集まりました。午前11時30分に陸区長が祝詞をあげ、参加者全員で五穀豊穡、家内安全、無病息災を祈った後、さいの神に点火。たちまちバチバチ音を立てながら燃え上がり、竹につるしたスルメやタコを焼いて食べたり、地区でとれた野菜をふんだんに使ったあつあつの豚汁で体を温めたりしながら、小正月の伝統行事を楽しみました。また、阿賀野地区のほか、11日・12日には町内各地でもさいの神が行われました。



第3回 小阿賀野川「川おこし」
ワークショップ 開催案内

◆日時 2月21日(土) 午後1時30分～4時30分
◆会場 二本木地区コミュニティセンター

「宝物絵巻（おもしろ小阿賀野川めぐり）」をもとに、小阿賀野川流域ならではの楽しさやおもしろさを高めるアイデアを交換しながら、地域づくりのキャッチフレーズやキーワードについて話し合います。事前の申し込みは不要です。当日、直接会場へお越し下さい。
◆問い合わせ 新潟地域振興事務所 地域振興課 ☎231-8112

第2回小阿賀野川ワークショップ

～小阿賀野川で楽しく過ごす
「宝物絵巻」づくりを考える～

1月17日、二本木地区コミュニティセンターを会場に、第2回小阿賀野川「川おこし」ワークショップが開催されました。このワークショップは、小阿賀野川を中心に川や地域の魅力を活かしたこれからの地域づくりについて、流域の方々と一緒に共同作業を行いながら考えようと、新潟、新潟地域振興事務所の主催により企画された3回シリーズの会合です。第1回目は、流域の自然や文化、行事、特産品、思い出などについて話し合いながら、たくさん地図に書き込み、宝物マップを作成しました。第2回目のワークショップには、小阿賀野川流域の住民など45名が参加。はじめに新潟市で造船業を営んでいる中川伸一さんから「小阿賀野川の川舟について」と題して、独特の形をしたコーレンボウという船の構造や舟運について話がありました。

その後、6グループに分かれて、第1回目で作った宝物マップを参考に、小阿賀野川で楽しく過ごす川めぐりのプラン作成に挑戦。神楽舞いなどの伝統芸能、神社めぐり、秋の恵み、船をテーマにするなど、流々な旅のアイデアが生まれ、旅行会社の企画マンにたつもりで、小阿賀野川の魅力を活かした地域めぐりのプランを、参加者たちは目を輝かせて作っていました。



◆日時 3月6日(土) 午後1時30分～4時30分
◆会場 横越町商工会 2階
◆内容 講師、パネラーには町民の方が登場します。第一部 歴史文化から学ぶまちづくり、第二部 パネルディスカッション。休憩時間には、とん汁を無料サービスします。
◆申込・問い合わせ 東北電力(株)新潟営業所お客さまセンター ☎090-3145-0873

選挙管理委員会は、選挙が中立公正に行われるために、厳正に選挙の管理執行を行う機関です。前委員の任期が、平成15年12月31日をもって満了したことに伴い、下記のとおり新しい体制がスタートしましたので、お知らせします。

○新しい選挙管理委員会委員 (4名)
・委員長 佐藤 豊次
・委員長職務代理 伊藤 榮一
・委員 今井 末吉
・委員 残間 征太郎

横越町選挙管理委員会
新しい体制でスタート



横越中地区の子どもたち

町の福祉に役立ててほしいと、横越中地区青少年育成会（会長 神田一正さん）より5万円の寄付がありました。毎年、同育成会役員や子どもたちが、二年参りでにぎわう横越神社でスルメを販売し、その売上金の一部を町に寄付しています。大変ありがとうございました。

ご厚志に感謝

12月資源ごみ収集実績

空	き	び	ん	6.4 t
空	き	缶		3.5 t
古		紙		43.2 t
ペットボトル	(拠点回収分)			1.4 t
プラ製容器包装	(12月業者引渡分)			5.9 t
合	計			60.4 t

横雲ニュータウン

オール電化住宅フェア
プレセミナー
「E・食・住で横越のまち
魅力発見」参加者募集

「E・食・住で横越のまち 魅力発見」参加者募集
にいつ・E家つくる匠会、横越町建築組合などの共催により、横越の街並みや住まい、それを支える食材や文化など地域の魅力づくりについて、皆さんとともに語り合います。参加は無料です。